

③特別支援部会「研究内容について」

特別支援学級における本校の実態

本校には情緒学級（こもれび）・知的学級（のぞみ）・言語通級教室（ことばの教室）の3つの特別支援学級（通級）があり、それぞれが在籍する児童の教育的ニーズに合わせた支援をしている。

児童は明るく素直な児童が多いが、人前で話したり、自分から関わったりすることが苦手な児童、気が散ってしまい話を聞き逃してしまう児童、気持ちの切り替えができず集中して学習に参加できない児童など、個別に学習や生活に対する困難を抱えている。また、子どもたちは支援学級での学習を基本としながらも、通常級での児童や多くの教職員との関わりの中で、コミュニケーションを図っているが、相手の思いを汲むことや、その場に則した言葉遣いをするのが苦手であるなど、他者との関わりについても課題がある。そして、それらを原因として、失敗体験を重ねてきたことによる自己肯定感の低さが見られている。

今後、子どもたちが自立し社会参加していくために、自信をもって自分の思いや考えを表現し、他者と積極的に関わっていく子どもを育てていきたい。そこで特別支援における研究主題を以下のように設定する。

研究主題

「予測困難な時代を生き抜き、自分の道を自ら切り拓く子どもの育成」
～伴走者としての教師の姿と、のびのびと自己表現する子どもたち～

特別支援における目指す子ども像

見通しをもって活動し、安心して生活することができる子ども
自分の価値を知り、認め、自分のことを大切にする子ども



仮説検証型で、日々の実践を積み重ね、上記の子ども像を目指していく

情緒（こもれび）

知的（のぞみ）

言語通級教室（ことばの教室）

子どもを支える伴走者としての教師